

田代委員長の挨拶では、『「このような形での開催となり大変残念である。代議員の皆さんには多くのご迷惑をおかけしたが、ご理解ご協力を頂き感謝申し上げる。本日、参集出来なかつた代替として、コロナウイルス感染症に留意しながら、執行部が各支部や各職場に出向いて組合員と意見交換する場を設けていく。九州地区本部として、「組織拡大」「安全確立」「若手の育成」の3つを柱とし鋭意に取り組み、来たる衆議院選挙ではJR連合が推薦する候補者

8月29日、北九州
市内において開催し
向こう一年間の運動
方針を決定しました。
当日は、緊急事態宣言
発令中に伴い、執行部
三役のみでの書面議
決としました。

第37回

九州地区本部定期大会開催

大会宣言

私たちは本日、北九州市内において、「組合員の総力で新型コロナウィルス感染症に負けずに、『組織拡大！』」「『安全確立！』」をスローガンに、2021年度の運動方針案を満場一致で決定、その実行に全力を挙げることを確認した。

新型コロナウィルス感染症が拡大し、さらに収束見通しが分からぬことで、これまでにない危機感を抱いている。こうした中においても、私達は社会的責務を果たすべく安全安定輸送に努め、労使が一体となって、この難局を打破していくこととする。また、未曾有の自然災害がいつ起きても不思議ではない時代となり、JR連合と共に大規模災害にも耐えうる鉄道強靭化に向けて取り組んでいくこととする。

私たちは、「安全最優先」の浸透に努め、「すべてのJR関係者の死亡事故・重大事故ゼロ」を目標に活動を展開してきたが、JR各社において死亡労災事故が発生している。千早操車場構内における組合員の触車死亡事故を風化させず、再発防止・安全強化に対する取り組みを、より一層作り上げていかなければならない。安全を確保し人命を守ることの重要性をあらためて認識し、「安全最優先の企業風土確立」「労災死亡事故ゼロ」への取り組みを強化していく。

コロナの影響によりJR貨物の経営も厳しいが我々の生活も厳しい。会社と労働者は一緒に船に乗っており、どちらかが傾けば船は沈没してしまう。将来に渡り希望が持てる環境つくりをしなければ会社の発展はありえず、優秀な人材が離れていくことを会社は強く認識しなければならない。今後、労働者不足の時代に突入し、常に優秀な人材を確保するためにも、労働条件改善は必須であり、若い社員が将来に渡り希望が持てる環境つくりをしなければ会社の発展はありえない。

組織拡大が喫緊の課題である地区本部としては、「組織拡大への強い意思とプロセス」が組合員に見える運動となるため、今一度取り組みを見つめなおすとともに、戦後平和を守り抜いた労働者・労働組合の力量の真価が問われている。平和憲法擁護の姿勢を明確に示し、平和を守る運動に積極的に参画していくとともに、「労働者のための」政権実現に向け運動を強化していく。

将来に健全な労働組合をしっかりと引き継ぐことを念頭に、執行部以下全員が自らに与えられた役割と責任を再度自覚し、この1年間全力で闘い抜こうではないか。

以上、宣言する。

必勝に向け組合員の協力をお願いしたい』と力強く述べられました。

方針を確認し、役員改選、大会宣言案を読み上げ、閉会しました。

